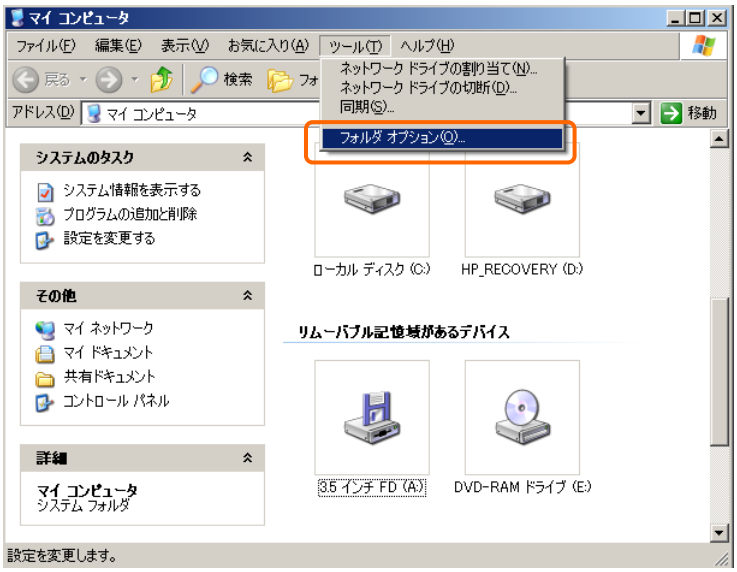
■□■ USB メモリのウィルスを手動で削除する □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■ Windows XP ■□■

USB メモリのウィルスは、隠しファイルや隠しフォルダとして存在しています。
STEP1～STEP3 の手順に従って、USB メモリ内のウィルスを手動で削除することができます。

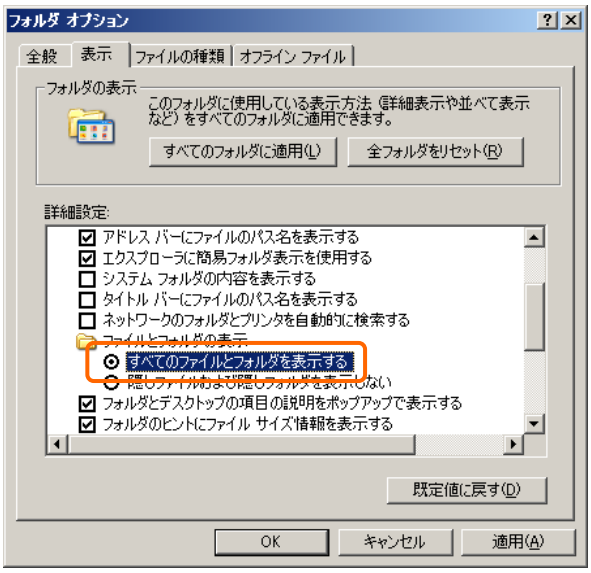
STEP1 ： 隠しファイルや隠しフォルダを表示するよう設定する
STEP2 ： ウィルスを削除する
STEP3 ： 表示させた隠しファイルや隠しフォルダの設定を元に戻す

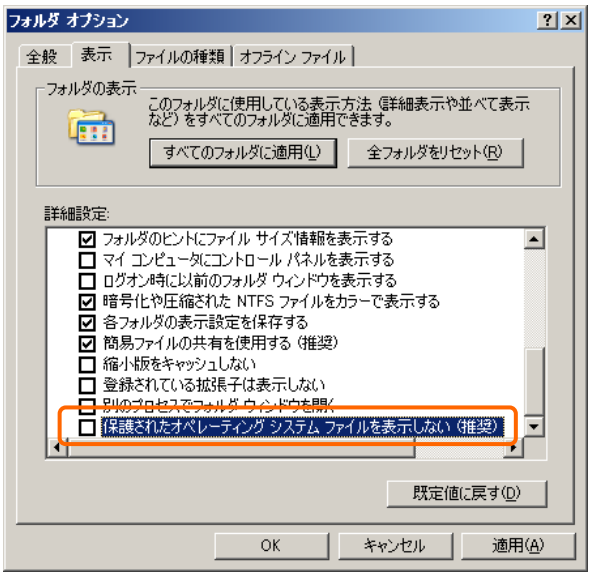
STEP1 ： 隠しファイルや隠しフォルダを表示するよう設定する

1.マイコンピュータを開き、 [ツール／フォルダオプション] を選択します。



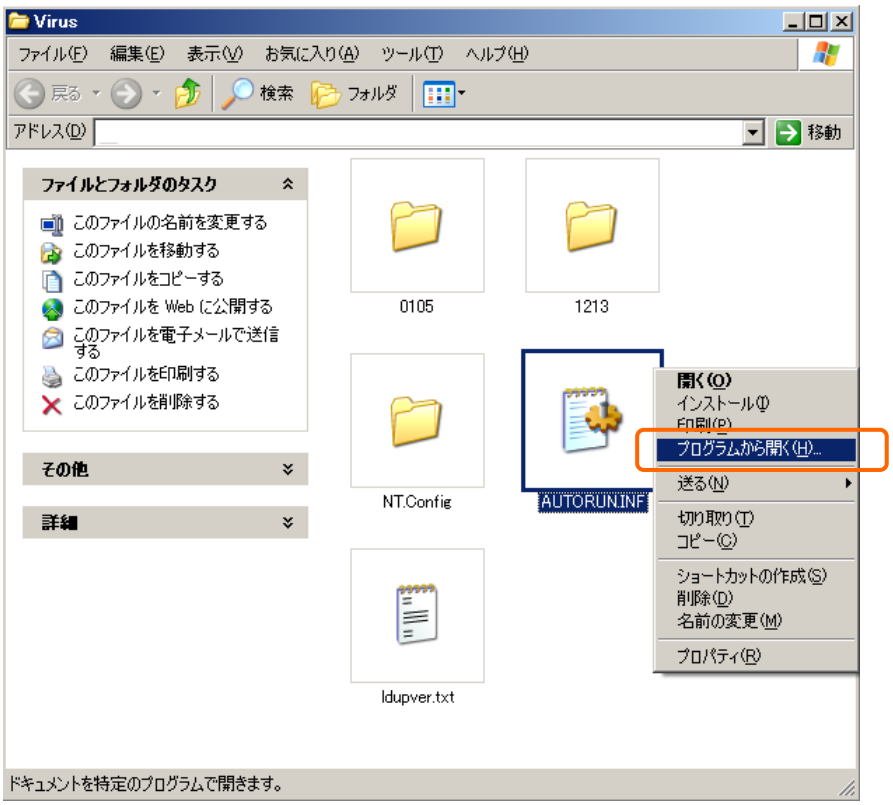
2.「すべてのファイルとフォルダを表示する」にチェックを付け、
「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない」のチェックを外し、 [OK] をクリックします。



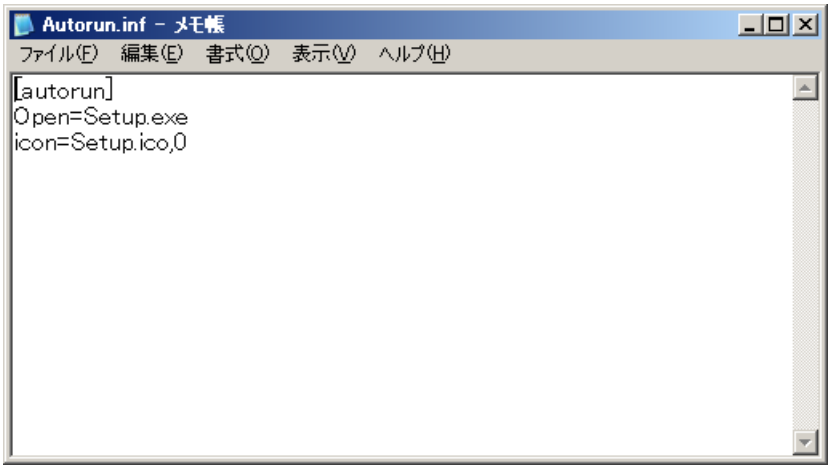


STEP2 ： ウィルスを駆除する

1.USB メモリ内の **「AUTORUN.INF」** ファイルを右クリックし、 [プログラムから開く／Notepad] を選択します。



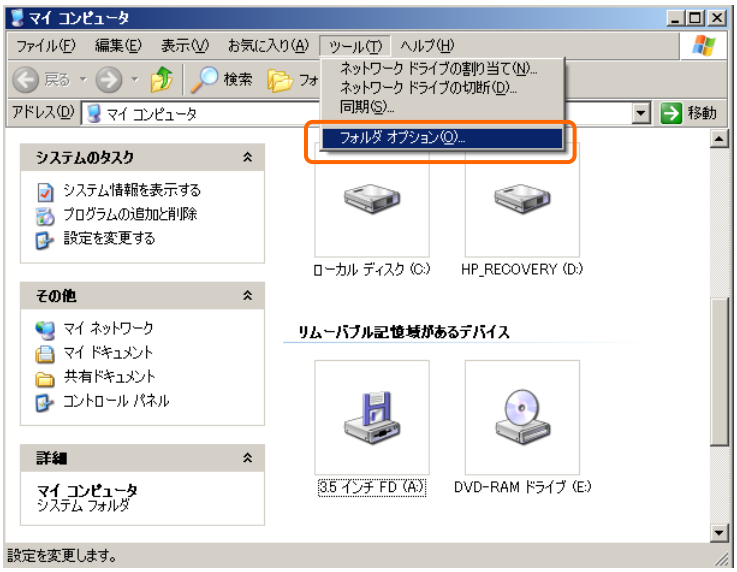
2. **「*********.exe」** という記述があれば、**行ごと削除**し、上書き保存します。



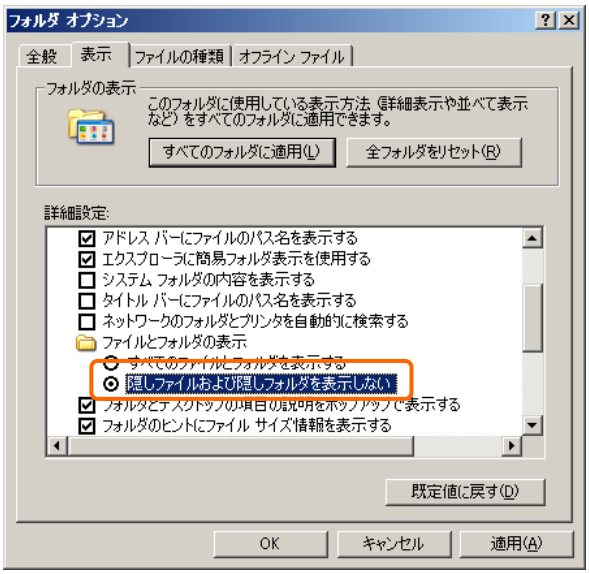
3. 続いて、USB メモリ内に **「NT.Config」** フォルダや **「ldupver.txt」** ファイルがあれば、**すべて削除**します。

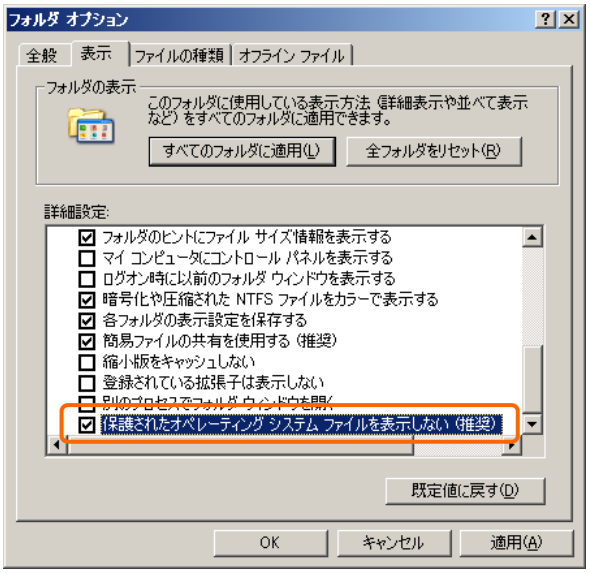
STEP3 ： 表示させた隠しファイルや隠しフォルダの設定を元に戻す

1.マイコンピュータを開き、 [ツール／フォルダオプション] を選択します。



2.「隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない」にチェックを付け、
「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない」にチェックを付け、 [OK] をクリックします。





感染しないための、豆知識 （対策例）

その1

自分の管理下にないパソコン(インターネットカフェ等)で安易に USB メモリを使わない。

その2

[Shift]キーを押しながら、USB メモリを挿す。
（こうすると、ウィルスの実行ファイルがすぐ起動しません。）